



2021年7月5日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース 49号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. チョコレート業界のトップ企業が EU とカカオ生産国のパートナーシップ協定を要請 (7/1)

世界のチョコレート業界のトップ企業連合は、EU=欧州委員会に対し、完全に持続可能なカカオサプライチェーンの確立に貢献するため、EU とカカオ生産国との間の二国間協定の確立を追求するよう求めました。

この企業連合はメディアに発表した共同声明の中で、新たな二国間協定は、今後予定されている「持続可能な企業統治指令」や「森林破壊規制」など、他の EU 政策フレームワークを補完するものであることを求めている。連合には、フェレロ、マース、モンデリーズ・インターナショナル、ネスレ、トニーズ・チョコロネリー、ユニリーバなどのチョコレート会社、フェアトレード・インターナショナル、レインフォレスト・アライアンスなどの認証機関、フェアトレード・アドボカシーオフィス、VOICE ネットワーク、インターナショナル・ココア・イニシアティブなどの NGO が参加しています。

「私たちは、カカオ農家が生活収入を得て、児童労働などの人権侵害を減らし、最終的には排除し、環境破壊を終わらせるためには、複数の政策手段を組み合わせる必要があると考えています。この2つの新しい法律案は、企業がバリューチェーンの中でこれらの問題に対処する義務を生じさせるものですが、こうした努力は、カカオセクターで蔓延する人権や環境問題の根本原因に対処するための適切な環境によって支えられなければなりません」と述べています。

この企業連合は、EU がカカオ生産国の政府と長期的なパートナーシップ協定の確立を追求し、地域社会の代表者、農家、産業界、市民社会を含むすべての関連するステークホルダーの参加を確保することが不可欠であると考えています。これらのパートナーシップ協定には、関係者全員の行動のための期限付きフレームワークが含まれるべきです。

「2019年、私たちはEUに対し、人権と環境に関するデューデリジェンスの義務的な法整備と、カカオ原産国政府との二国間パートナーシップ協定の交渉という2つの点で行動を起こすことを求めました。私たちは、欧州委員会がデューデリジェンス法の提案を策定するためにこれまで行ってきた進展を歓迎し、年内に提案が提出されることで、プロセスの適切な継続とEU全体での調和が可能になることを期待しています。同時に、この規制の枠組みと並行してパートナーシップ協定を整備することの重要性を強調する」と声明を発表しました。

2. コートジボアール、降雨が生産量に好材料だが、一方で洪水のリスクも (7/5)



コートジボワールのココア生産地域の大半で先週、平均以上の降雨と日照があったため、2021/22年のメインクロップの栽培が強化される可能性があるが、一方で、さらなる豪雨により一部の農園が浸水する可能性があるとして、同国のカカオ農家は5日に語った。

世界トップのカカオ生産国であるコートジボワールは、4月から11月中旬までの雨季の真っ只中にある。このカカオ農家によると、4月から9月のミッドクロップの収穫は終わりに近づいており、8月下旬から9月下旬にかけての収穫は、ここ最近の長引く晴天と混じった豪雨が後押ししてくれるという。また、カカオの木は次の収穫の為に花を咲かせ始めているとのこと。「これからのメインクロップの収穫は、生き残ってサヤになるこの花にかかっています」農家は説明する。

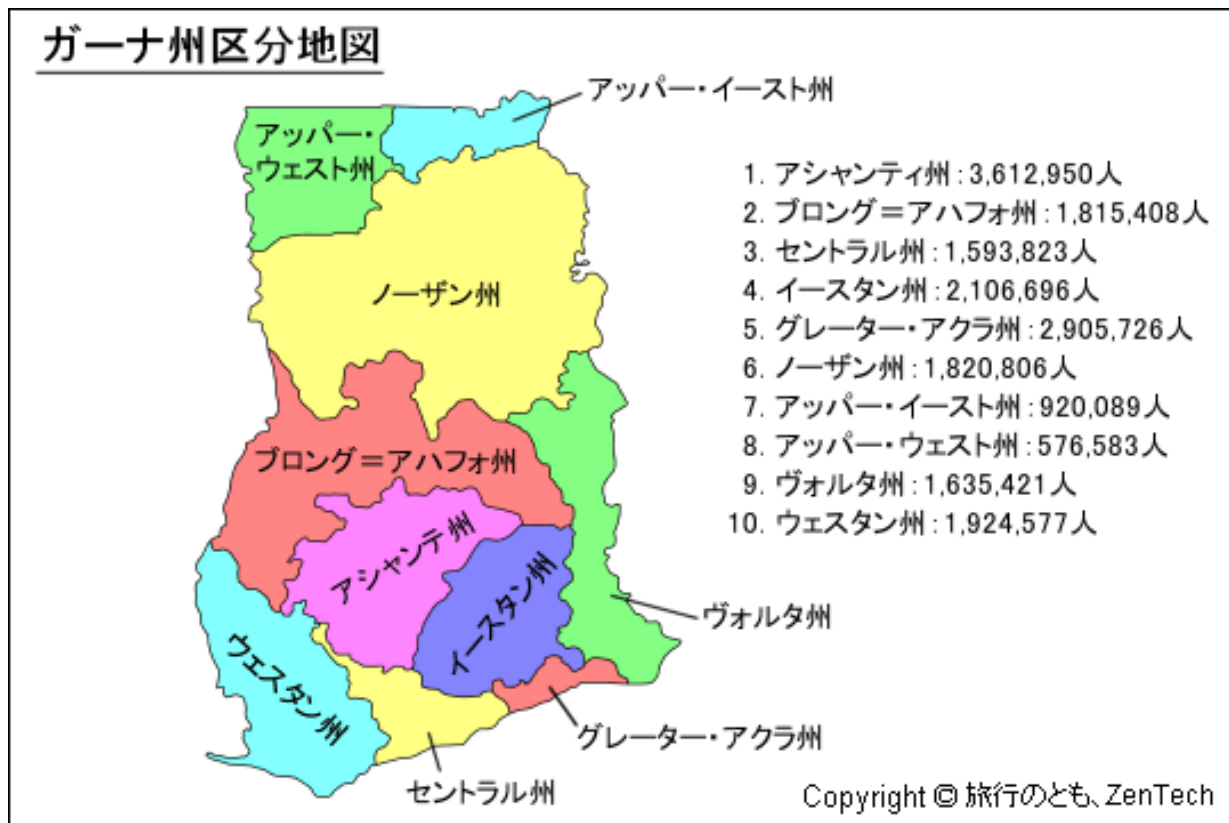
同国沿岸部の港町サンペドロでは、先週は雨が多く降り、舗装されていない地方の道路が損傷し、カカオ農園へのアクセスが困難になったと農家は述べています。サンペドロ近郊で農園を営むカカオ農家は、「木の開花率は良いのですが、今週再び大雨が降った場合、いくつかの農園が浸水するのではないかと心配している」と語った。

ロイター通信が収集したデータによると、カカオベルトの中心である西部のSoubre地域（Sassandra地域とSan Pedro地域を含む）の先週の降雨量は64.5ミリで、5年平均を24.5ミリ上回っていた。南部のAgbovilleとDivoでは、雨量は平均を下回ったが、農家によると木に花が咲いているという。中西部のDaloaと中部のBongouanouとYamoussoukroでは、雨量が平均よりも十分に多かったため、農家は開花に向けて順調なスタートを切ったと報告している。

しかし、先週は雨が多かったため、農家は豆を適切に乾燥させ、適切な条件で保管することに苦勞しました。「農場ではまだたくさんの豆を収穫しなければなりません。」先週の降雨量が54.7mmと平年より29.7mm多かったDaloa近郊で農園を営む別のカカオ農家は、「湿った環境で豆がカビてしまうのではないかと心配しています」と話した。尚、先週のコートジボワールの1週間の平均気温は、24.5～28.2℃だった。

3. ガーナ産カカオ参考情報；ガーナの各州の生産数量の内訳

ガーナのカカオ生産が主に国の南側半部で行われていることは知っている方も多いのではないのでしょうか。今回はもう少し詳細に州ごとの内訳をご紹介します。1983/84年のクローブを堺に、生産量の1位はアシヤンティ州からウェスタン州に変わり、その後は今日までウェスタン州がガーナ最大のカカオ生産州になっています。首都のアクラから比較的移動しやすいという理由で、日本の方々が馴染みのあるのはセントラル州やイースタン州のカカオ農園かもしれません。ぜひ、今後の事業活動の際には、立地的にあまり企業のプロジェクトなどの取り組みが届きにくい、ウェスタン州やブロング-アハフォ州の生産者にもご注目ください。



2019/2020 の各州のカカオ豆生産数量：

| | |
|---------------|--------------------------|
| アシヤンティ州 | : 165,830 トン (2位) |
| ブロング-アハフォ州 | : 88,460 トン |
| イースタン州 | : 89,131 トン |
| セントラル州 | : 88,526 トン |
| ウェスタン州 | : 332,647 トン (1位) |
| ヴォルタ州 | : 5,383 トン |
| 合計 | : 766,977 トン |

4. NYカカオ相場：ボリンジャーバンドの下限を下回り、売られすぎの状態が鮮明に (7/1)

現在、ICE のココア 9 月限は、ボリンジャーバンドの下限を下回り、売られすぎの可能性を示している。

・過去1年間で、最も活発に取引されている先物商品は、このレベルを8回下回り、その後20日間で平均3.9%上昇した。

・ICE のココア 9 月物は、200 日移動平均線を下回り、50 日移動平均線を下回っている

・カカオ先物価格は1.5%下落の2,319 ドル/MT

| | 上昇 | 下落 | 総合 |
|---------|------|-------|------|
| イベントの回数 | 4回 | 2回 | 8回 |
| 平均リターン | 7.3% | -2.9% | 3.9% |

発生回数は、今回のシグナルを含め、過去1年間に発生したテクニカルシグナルの回数を表しています。平均リターンは、過去のシグナルの今後20取引日の平均リターンを表しています。過去20取引日以内にイベントが発生した場合は、その期間が経過するまで表の上昇・下降の項目には表示されません。

上記の記事をチャートで分析してみます。



上記の表の一番上で赤丸をしている部分はボリンジャーバンドの下限に触れた後、いずれも価格が一時上昇傾向へと変わっている部分である。今回も、7月2日までの週で一度ボリンジャーバンドの下限に触れてから、たしかに一旦下げ止まり、今週は均衡状態が続いており、抵抗力が強い感じが続いています。一般的にドルが強くなると先物価格は米ドルで取引されていることもあり、価格が下がる相関が強いです。その意味からも米ドル高の中でも、一度下げが落ち着いた状況と、MACDからも、RSI等の指標からも売られすぎ状態であることは明らかで、反発しそうな気配はある。ただ、先物市場全体での取引数量もあまり活発ではない日が多いことから、まだ明らかな方向感はない感じが続いている。

5. ナイジェリアの5月のカカオ豆輸出は前年対比で2倍以上に。(6/29)

アフリカ最大の経済大国であるナイジェリアの商業ハブであるラゴスのアパバ港の検査機関や船会社がまとめたデータによると、5月のナイジェリアからのカカオ豆の輸出量は23,041.9トンとなり、前年同月の11,626トンの約2倍となりました。

・ナイジェリア・ココア輸出協会のピウス・アヨデレ会長が電話で語ったところによると、今月の出荷は主に、1年間続いた岸壁の問題で貨物の積み出しが慢性的に遅延していたものが、緩和されたために港に滞留して

いる在庫が出荷された状況。「現在は、カカオ農園からの新たな供給はなく、輸出業者が現在サービスを提供している以上の追加の新規契約もない」

- ・5月当月の出荷量は、4月に輸出された32,384トンと比較して29%減少
- ・ナイジェリア産カカオ豆の主な輸出先はヨーロッパで、輸出量の60%に当たる13,841トンが相当する。その内訳では、オランダが8,615.6トン、次いでベルギーが2,349.4トンでした。その他の輸出先は、ドイツ、スペイン、エストニア、ブルガリア、スペイン、トルコ等。
- ・アジアへの輸出は合計7,398.3トンで、マレーシアが5,141.8トン、インドネシアが2,256.5トン
- ・アメリカ大陸では、カナダに1,553トン、アメリカに249.2トンが輸出された
- ・5月のココアバターは輸出量は1,118トンで、前年同月の158トンの約7倍、4月のココア加工製品の輸出量578トンの約2倍でした。ココアバターの輸出先はすべて欧州。

6. コートジの6/28-7/4の1週間カカオ着荷数量 13,978トン、合計で232万トンに (7/5)

政府のカカオ業界のデータに詳しい関係者によると、コートジボワールの農民は先週、13,798トンのカカオを港に送った。前年の同じ週の集荷数量は26,561トン。また、10月1日にシーズンが始まって以来の総到着数は232万トンとなり、これは、昨シーズン19/20シーズンの同時期までの総着荷数量の約215万トンを上回る数字。

下記は、同国内でのカカオ豆を輸出及び加工用に買い付けた企業の上位リストである。

*期間は20年10月1日から21年7月4日までを反映。

| 会社名 | 購入数量(トン) |
|------------------|-----------|
| カーギルグループ | 332,552 |
| アウトスパン(オーラムグループ) | 289,976 |
| Saco社 | 243,766 |
| Touton社 | 166,328 |
| S3C社 | 162,042 |
| その他企業 | 1,120,552 |
| 合計 | 2,315,216 |

7. ファンド勢のニューヨーク・カカオ先物は売りが多く、純売り越しポジションに (7/3)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋(Managed Money)は今週、売りポジションを増やし、買いポジションの数字を1,746ロット分上回ったことで、純売り越しポジションへと変化した事がICE米国先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、6月29日)の取引が含まれている。

- ・先週の段階では純買いポジションの数量は2,401であった。
- ・今週は純売り越しポジション(=総買いポジション数<純売りポジション数)となり、11か月ぶりの弱気レベル
- ・総買い数量は今週1,266ロット増加し、42,701ロットになった。
- ・総売り総量は6月27日までで、前週より5,413ロット増えて、44,447ロットとなった。この総売り数量は過去11か月で最も高い水準。

8. ファンド勢のロンドン先物は純売りポジションが増加。過去2年間で一番弱気に(7/3)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純売り越しポジションを5,369ロット増やして、21,733ロットとなったことが、ICE欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、6月27日)の取引が含まれている。

- 純売りポジションの総量は過去2年で最も弱気水準 (売られ過ぎ状態)
- 買いポジションの総量は6月27日までで、前週より180ロット増加して7,976ロットとなった。
- 買いポジションの総量は、過去4週の中では一番高い数字。
- 売りポジションの総量は6月27日までで、前週より5,549ロット増えて、29,709ロットとなり、この数字は過去11か月で一番高い数字。

9. トレンド情報；新しい心のリフレッシュ方法 「カカオマインドフルネス」

株式会社Melon (本社：東京都港区、代表取締役：橋本大佑、以下MELON)は、株式会社ロッテ (本社：東京都新宿区)の提案する、高カカオチョコレートを使った新しい心のリフレッシュ方法「チョコっと！カカオマインドフルネス」を監修した。



昨今「外出自粛」や「リモートワーク」によって生活習慣が大きく変化し、先の見えない情勢に心の乱れを感じる人が増加していると言われている。そこで、今回のプログラムが開発された。

「チョコっと！カカオマインドフルネス」では、五感をフルに使うことで、心をリフレッシュすることができる。在宅ワークの空き時間や、せわしない家事や子育てのスキマ時間など、ふとした瞬間に手軽に行うことができるのが特徴だ。特設サイトではMELONが監修した「チョコっと！カカオマインドフルネス」の方法を紹介する2本の動画も公開されている。



そもそもマインドフルネスには「食べる瞑想」と呼ばれる、五感 (視覚、触覚、嗅覚、味覚、聴覚) に意識を向け、丁寧に食べ物を味わうという実践方法が存在する。チョコレートはコク深さや香り・風味・舌ざわり等の様々な変化を感じることができる五感に意識を向けやすい食品であるため、マインドフルネスと非常に相性が良いとMELON代表取締役である橋本大佑さんは考えている。また、ロッテ中央研究所の官能評価調べの中でも、高カカオチョコレートは食べ始めにはリラックスすることができ、食べ終わりに向かって幸せな気持ちになっていく人の割合が有意に多いという事実が明らかになっている。

*商品説明および写真は下記プレスリリースおよび特設サイトより

プレスリリース：<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000021.000047366.html>

特設サイト：<https://www.lotte.co.jp/corporate/cacaomindfulness/>

*株式会社 Melon の HP <https://www.the-melon.com>

10. トレンド情報：世界初の完全食チョコレート andew（アンジュ）がより気軽に購入に。

株式会社 SpinLife（本社：北海道札幌市、代表取締役：中村恒星）は、世界初の完全食チョコレート andew(アンジュ)の自社オンラインショップでの販売方法を変更した。今後チョコレート1枚からの購入が可能となり、今までよりも気軽に購入できるようになる。



andew は、昨年5月に医学生によって開発された世界初の完全食チョコレートで、原料のカカオ豆に加え、アーモンド、きな粉、チアシード、ココナツ、ケシの実、抹茶、昆布などの様々な食材を使用しているのが特徴である。タンパク質や各種ビタミン、ミネラルなどの人間に必要な27種類以上の栄養素をバランスよく含んでおり、理想的な栄養バランスを実現している。実際、チョコレート2枚あたりで摂取できる栄養素は以下の通りである。

※()内の%表示は、成人男性の1日摂取必要量に対する比率を示す。

| | | | | | |
|--------|---------|--------|---------|--------|--------|
| 熱量 | 338kcal | (15%) | マンガン | 0.86mg | (21%) |
| タンパク質 | 8.5g | (17%) | モリブデン | 13.6μg | (55%) |
| 炭水化物 | 35.5g | (13%) | ヨウ素 | 92.5μg | (71%) |
| 脂質 | 35.5g | | リン | 267mg | (27%) |
| 糖質 | 17.4g | | ナイアシン | 7.6mg | (58%) |
| 食物繊維 | 10.0g | (50%) | パントテン酸 | 3.2μg | (64%) |
| 食塩相当量 | 0.02g | (0.3%) | ビタミンA | 231μg | (135%) |
| 亜鉛 | 4.6g | (46%) | ビタミンB1 | 1.6mg | (137%) |
| カリウム | 549mg | (22%) | ビタミンB2 | 1.6mg | (127%) |
| カルシウム | 148mg | (23%) | ビタミンB6 | 2.3mg | (191%) |
| クロム | 15.3μg | (154%) | ビタミンB12 | 6.3μg | (314%) |
| セレン | 11.6μg | (39%) | ビタミンC | 18.8mg | (22%) |
| 鉄 | 5.1mg | (73%) | ビタミンD | 1.2μg | (23%) |
| 銅 | 1.1mg | (127%) | ビタミンE | 8.8mg | (135%) |
| マグネシウム | 173mg | (62%) | ビタミンK | 29μg | (18%) |
| | | | 葉酸 | 60μg | (30%) |

さらに、白砂糖・乳化剤・保存料・香料は不使用で、乳・卵不使用のヴィーガンにも対応している。もともとは、表皮水疱症という皮膚難病の患者さんのために開発されたチョコレートであったが、バランスよく栄養を摂取したい方、罪悪感なくチョコレートを食べたい方、アスリートやトレーナーなどのボディケアに至る方、加齢や病気で食が細くなった方、育ち盛りのお子さん、ヴィーガン菜食の方など幅広い方に楽しんでいた

だけのチョコレートになっている。より充実したおうち時間を栄養面からサポートしてくれる完全栄養食チョコレートに、今後期待が高まる。

*商品説明および写真は下記プレスリリースおよび特設サイトより

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000015.000058098.html>

公式オンラインショップは以下

<https://andew.co.jp/>

11. トレンド情報；ホテルショコラが北海道長沼町に新チョコレート工場

英国発のチョコレートブランド「ホテルショコラ」の日本法人が、北海道長沼町に新工場の建設を予定している。同ブランドはかねてより長沼町の公募型プロポーザルに応募しており、先月 30 日の長沼町議会にて正式に契約が採決された。

長沼町の東 4 線北 10 にあるゴルフリゾートの跡地の一部、約 15 万 6000 平方メートルの広大な丘陵地を活用し、200 人を雇用する計画で、2026 年までに稼働を目指す予定だ。

この町を選んだ理由としては、緩やかな斜面の広がる風景がイギリスとよく似ていたことや、新千歳空港から車で 30 分と立地が良いことが挙げられた。

チョコレート工場のほかに宿泊施設なども建てられる計画で、交流人口の増加による地域経済への波及効果や、若年層の雇用創出などの観点から、地元の人々からも期待が高まっている。

*商品説明および写真は下記プレスリリースおよび特設サイトより

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3703188c2f572c49426f59263fb2254eab554471>

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQ0FC2952V0Z20C21A600000/>

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではございません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。